（別紙様式4）

令和6年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
仙台総合ペット専門学校	昭和58年10月22日	理事長　菅原　一博	〒　980-0014 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町2-11-20 （電話）　022-221-2877
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人菅原学園	昭和35年3月26日	理事長　菅原　一博	〒　980-0814 （住所）　宮城県仙台市青葉区本町2丁目11-20 （電話）　022-221-1112

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	文化教養専門課程	ドッグトレーナー科	平成20(2008)年度	－	平成27(2015)年度

学科の目的	ドッグトレーナーに求められる、しつけに関する高い技術と知識、そしてお客様の話をよく聴き、犬との暮らしを快適にするための改善点と改善方法を伝えられるコミュニケーション力を身に付けた人材の育成を目的とする。また、社会人としてのルールやマナーを身に付け、積極的に実践していくための「気付く目」と「思いやる心」を持ち、多くの方々に信頼されるドッグトレーナーの育成を目指す。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【取得可能資格】 家庭犬訓練士、愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、ビジネス能力検定、損害保険募集人資格、文書処理能力検定（ワープロ・表計算）

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,860 単位時間 単位	690 単位時間 単位	－ 単位時間 単位	1,170 単位時間 単位	－ 単位時間 単位	－ 単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
30 人	32 人	0 人	0 %	6 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)　：　16　人
■就職希望者数 (D)　：　16　人
■就職者数 (E)　：　16　人
■地元就職者数 (F)　5　人
■就職率 (E/D)　100　%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)　31　%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)　100　%
■進学者数　0　人
■その他

（令和　　5 年度卒業者に関する令和６年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等
（令和5年度卒業生）
犬のしつけ教室、ペットショップ、ペットリゾート

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無
※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.sugawara.ac.jp/pet/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	1,860 単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	660 単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間
うち必修授業時数	1,860 単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	660 単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した演習の単位数	単位
うち必修単位数	単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	3 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	1 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		4 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程（カリキュラム）の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む）に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
赤澤　暁昌	一般社団法人 全国ペット協会　事務局長	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	①
渡邉　圭	有限会社 ヨネヤマプランテイション ペットエコ仙台　マネージャー	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	③
石井　あゆみ	アンド・ドッグス株式会社　代表取締役	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	③
磯村　直樹	株式会社LOVE WALK　オーナー	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	③
梅川　明寛	仙台総合ペット専門学校　副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	－
浅野　悟	仙台総合ペット専門学校　教頭	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	－
菅原　学	仙台総合ペット専門学校　飼育管理科	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	－
千葉　雅司	仙台総合ペット専門学校　ドッグトレーナー科	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	－
髙橋　和也	仙台総合ペット専門学校　トリマー科	令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（9月、3月予定）

（開催日時（実績））
第1回　令和6年9月27日開催
第2回　令和7年2月開催予定

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
ドッグトレーナーとしては飼い主様が分かるようにトレーニングの方法を伝える技術が大切であるため、引き続き学校内での授業だけではなく外部との関りをさらに増やすべきであると意見をいただいた。さらに、飼い主様と犬との楽しい生活の提案として様々なドッグイベントの参加やドッグスポーツを体験することも重要となるため、積極的な参加を勧められた。
今後の検討課題としても、外部の方との交流や授業で習ったことをどのような年代の人でも分かりやすく伝える技術をさらに向上させるべきであると意見をいただいた。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業を通し業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

しつけ教室の責任者やイラストレーター、トリミングサロンのオーナーと企業連携をとり、ドッグトレーナーとして現場に出た際にお客様により良いサービスを提供できる人材育成を目指している。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
トレーニング実習（1）、（2）	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	家庭犬訓練士資格取得のためしつけの基礎トレーニングから応用まで幅広く学ぶ。また、実技を主としたしつけの練習とトリックの練習を行い、パートナードッグの性格を理解し、基本のしつけと個性を活かしたトリックを習得する。	ドッグトレーニング　ハヤサカ
POP広告実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	POP広告の種類や色の効果、ペンの使い方など広告作成における知識を学び、実際の商品をモデルにした広告の作成を行い作成能力を身に付る。	はんどわんこ
グルーミング実習（2）	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	基本的なグルーミングの仕方から犬へ負担の少ないグルーミング方法まで幅広く学ぶ。	Dogsnapper

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。	
(2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 商品展示会 期間: 令和5年4月6日 内容 動物用品のトレンドを知る	連携企業等: P&Lジャパン株式会社 対象: 教員・学生
研修名: DogSUP体験 期間: 令和5年6月29日 内容 犬と一緒に行うアクティビティーを体験する	連携企業等: ワンアンドオンリードッグクラブ 対象: 教員・学生
研修名: 商品展示会 期間: 令和5年9月20日 内容 動物用品の最新トレンドを知る	連携企業等: ジャペル株式会社 対象: 教員
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 入学生に求められる学生指導 期間: 令和5年7月25日 内容 入学者数減少と学力低下が専門学校教育に及ぼす影響	連携企業等: 進研アド 対象: 教員
研修名: 施設における防犯対策 期間: 令和5年7月26日 内容 犯罪の推移と防犯対策・さすまたの使い方	連携企業等: 宮城県環境生活部 対象: 教員
研修名: お金のセミナー 期間: 令和6年2月20日 内容 安全なお金の使い方について	連携企業等: アクサ生命株式会社 対象: 教員・学生
(3)研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: DogSUP体験 期間: 令和6年7月17日 内容 犬と一緒に行うアクティビティーを体験する	連携企業等: ワンアンドオンリードッグクラブ 対象: 教員・学生
研修名: 商品展示会 期間: 令和6年10月23・24日 内容 動物用品のトレンドを知る	連携企業等: P&Lジャパン株式会社 対象: 教員・学生
研修名: ディスクドッグ体験 期間: 令和6年11月8日 内容 ディスクドッグのルールと行い方、犬へのトレーニングの方法を知る	連携企業等: ディスクドッグ東北 対象: 教員・学生
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 金融リテラシー研修 期間: 令和6年7月16日 内容 金融トラブル事例と予防について	連携企業等: SMBCコンシュウマーファイナンス 対象: 教員
研修名: ライフサイクルゲーム 期間: 令和6年7月12日 内容 保険や投資、生涯で必要になるお金について知る	連携企業等: 第一生命 対象: 教員
研修名: スーツセミナー 期間: 令和6年12月 内容 就職活動を行う上で必要になるスーツの着方について	連携企業等: ハローワーク 対象: 教員

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像　②学校における職業教育の特色
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか　②運営方針に沿っ
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか
(4)学修成果	①就職率の向上　②資格取得率の向上等
(5)学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備　②学生相談に関する体制の整備等
(6)教育環境	①施設・設備　②学内外の実習、研修についての教育体制等
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動等
(8)財務	①学校の財務基盤　②予算・収支計画等
(9)法令等の遵守	①法令の尊守と適切な運営　②個人情報保護等
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	–

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

外部との積極的なコミュニケーションをとるように意見をいただいた。飼い主様も犬も多様性が広がっており、様々な場面に対応できるように学校の授業だけでなく、ドッグイベントやドッグスポーツに積極的に参加をして、学生が多くの経験を積める場を与えるように意見をいただいた為、ドッグサップやディスクドッグだけでなく、訓練競技会の見学など多くの経験を積める場を提供した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
赤澤　暁昌	一般社団法人 全国ペット協会　事務局長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
渡邉　圭	有限会社 ヨネヤマプランテイション ペットエコ仙台　マネージャー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
渡辺　和枝	WANder LAND　代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
磯村　直樹	株式会社LOVE WALK　オーナー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　))

URL:　https://www.sugawara.ac.jp/pet/
公表時期:　令和6年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2)各学科等の教育	各科の案内
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5)様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6)学生の生活支援	学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10)国際連携の状況	–
(11)その他	–

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　))

URL:　https://www.sugawara.ac.jp/pet/
公表時期:　令和6年10月1日

授業科目等の概要

（文化教養専門課程 ドッグトレーナー科）

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法				場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技		校内	校外	専任	兼任	
1	○			キャリアガイダンス	様々なシチュエーションでの電話対応、履歴書や自己アピール書類の作成をおこない、就職活動の基礎を学ぶ。	2・通	60	4	○				○		○		
2	○			コミュニケーショントレーニング	ペット業界で求められる仕事への取組み方や心構え、業界理解と接客に必要とされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1・通	60	4	○				○		○		
3	○			ビジネスソフト実習（1）	「Microsoft Word」を使用しての文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得します。また、文書処理能力検定試験（ワープロ）の対策にも取組む。	1・通	60	2	△		○		○			○	
4	○			ビジネスソフト実習（2）	「Microsoft Excel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などに役立てる技術を学びます。文書処理能力検定試験（表計算）の対策にも取組む。	2・通	60	2	△		○		○		○		
5	○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー（一般常識、職務知識、マナー・接遇等）について全般的に学びます。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取組む。	1・前	30	2	○				○			○	
6	○			POP広告実習	POP広告の種類や色の効果、ペンの使い方など広告作成における知識を学び、実際の商品をモデルにした広告の作成を行い作成能力を身に付る。	2・通	60	2	△		○		○			○	○
7	○			愛玩動物飼養管理学	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1・通	60	4	○				○		○		
8			○	愛玩動物飼養管理士１級対策	「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物（ペット）の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。	2・後	30	2	○				○			○	
9			○	愛玩動物飼養管理士２級対策	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	2・後	30	2	○				○		○		
10	○			犬学（1）	犬の起源や習性、本能、繁殖についてなど犬に関する知識を学ぶ。	1・通	60	4	○				○			○	
11	○			犬学（2）	JKCで認定している各犬種についての知識とグループ毎の成り立ちと特徴、犬に関わる専門用語を学ぶ。	2・通	60	4	○				○			○	
12	○			犬の健康管理	家庭での健康管理法や代表的な病気と症状、避妊・去勢のメリット・デメリットなどを正しく理解する。	1・後2・前	60	4	○				○		○		
13	○			グルーミング（1）	グルーミング作業に必要な知識と技術を講義と実習で学びます。基本的作業に加え、安全に作業を進める上で必要な保定方法も身に付ける。	1・通	180	6	△		○		○			○	
14	○			グルーミング（2）	グルーミング作業に加え、カットやクリッパーを使用しての作業の仕方を学びます。また、飼い主様に対しての接客方法も実技を通して学ぶ。	2・通	210	7	△		○		○			○	○
15	○			トレーニング実習（1）	様々な犬とのふれあいにより、コミュニケーションの取り方と犬の性格や特徴を読み取る観察眼を養い、犬とのコミュニケーションの取り方やしつけの基礎を理解する。	1・通	210	7	△		○		○		○		
16	○			トレーニング実習（2）	実技を主としたしつけの練習とトリックの練習を行い、パートナードッグの性格を理解し、基本のしつけと個性を活かしたトリックを習得する。	2・通	360	12	△		○		○	○	○	○	○
17	○			小動物飼育管理学	ペットショップでの取り扱いが多い小動物の生態や飼育方法、代表的な病気について学ぶ。	1・後	30	2	○				○		○		
18	○			ドッグライフアドバイザー（1）	犬の行動の仕組みを基に、仕草・表情を読み解き、しつけの根本となる動物の学習理論について学ぶ。	1・通	60	4	○				○		○		
19	○			ドッグライフアドバイザー（2）	パピートレーニングの計画を立てシミュレーションを行うことで、しつけ教室開催の知識とお客様や犬への対応の仕方を身に付ける。	2・通	60	4	○				○		○		
20	○			猫学	猫の歴史から生態、品種、飼養管理方法など猫に関する基礎知識を学ぶ。	2・前	30	2	○				○		○		
21	○			ペットショップ販売学（1）	動物倫理や犬猫販売時の確認点や説明時のポイント、注意点を学びます。また、フードやサークルなどの犬猫用品の特徴と使用方法も学ぶ。	1・通	60	4	○				○		○		
22	○			ペットショップ販売学（2）	実習室を使用し、用品の展示方法やポイント、犬猫の飼育方法と注意点を学び、説明できる技術を身に付ける。	2・通	60	4	○				○		○		
23	○			ホリスティックケア	リンパマッサージや食事のケアなどペットを外面・内面的にサポートする知識を身に付ける。	2・前	30	2	○		△		○			○	○
合計					21 科目			1860 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	所定の年限以上在学し、各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し卒業を認める。	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	各授業科目において、5分の4以上出席した者に対し履修を認める。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。